

2022（令和4）年度 事業報告

社会福祉法人 あさひ

社会福祉法人あさひ 2022（令和4）年度事業報告

【法人本部】

1. 法人を取り巻く状況

私たちを取り巻く外部環境として3年以上に亘った新型コロナウイルスの影響は小康状態となり、コロナ以前の生活に戻りつつあります。クラスターも散発的なものにとどまり、インバウンドや経済活動も順調になりつつあります。当法人においても散発的な新型コロナウイルス感染は見られるものの、大きな事態とはなっておりません。

前理事長との交代から約2年が経過しようとしています。内部変革として、経費削減とファイナンスリバランスによる黒字転換、事業活動の安定化を目指して参りました。結果として安定した経営状態になってきておりますが、事業構造の特性から利益率が低い状態にあります。つまり、あくまでも経費削減やファイナンスリバランスは経営状態の正常化を取り戻したにすぎず、当法人が抱える根本的な事業構造の見直しを行っていく必要があります。従って、今後高収益事業への転換が必須であると考えております。

2. 事業推進方針に関する取り組み

事業推進方針として掲げた以下の取り組みについては、今後も継続的に実施して行きます。

- (1) サービスの質の向上と事業の継続性を図ること
- (2) 経費圧縮、高収益事業への事業転換

【事業部 訪問介護課】

1. 事業運営方針に関する取り組み

- (1) 住み慣れた地域で利用者が自己の尊厳を保ちながら、その能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営めるよう、医療や介護の関係機関と連携しながら、必要なサービスの提供に努めました。また2022年10月『福祉協会つるみ 訪問介護』事業所を再開し、『福祉協会たすけあい 訪問介護』とともに、より身近な地域で貢献できる体制となりました。

- (2) 利用者・ご家族との信頼関係を築き、安心して在宅生活を送っていただけるよう支援を行いました。
- (3) 新型コロナウイルス等の感染症拡大時や大地震等の自然災害発生時においても、支援が必要な利用者にサービス提供が継続できる体制作りのため、事業継続計画の策定に取り組んでいます。
- (4) ICT活用による業務効率化の取り組みとして、2023年1月から新たな介護ソフトを導入し、試験運用を開始しました。職員の業務負担軽減や情報共有化を図り、サービス品質の向上や人材の確保・定着を推進しています。

2. 事業実施目標に対する結果

	2022年度利用目標	2022年度利用実績
介護保険	220名	178名
障害者総合支援	180名	183名
定期巡回（委託）	8名	2名
子ども支援 産前産後支援	20名	3名
子ども支援 養育支援	15名	2名
子ども支援 ひとり親・里親養育援助	6名	1名

3. 事業実施報告

(1) 地域における連携強化と訪問介護サービスの質の向上

- ①利用者の自立支援や重度化防止という制度の目的を踏まえ、医療と介護の連携を強化し、客観的な根拠に基づいた質の高いサービスを目指しました。
- ②身体介護等の提供にあたり、安全かつ快適なサービスを提供するために鶴の学び舎研修やヘルパー同行指導・個別指導、ケース検討会を行い、職員の資質向上に努めました。
- ③月1回のリスクマネジメント委員会や内部会議で、事例に基づきリスクの課題分析・評価を行い、事故防止・再発防止に努めました。

(2) BCP（事業継続計画）の策定およびICTの活用

- ①新型コロナウイルス等の感染症拡大時や大地震等の自然災害発生時においても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるようBCP（事業継続計画）を策定しています。次年度以降も継続して見直しをしていきます。
- ②職員研修や資料配布を行い、感染症防止対策等の周知・徹底に努めました。
- ③ICT化に取り組み、ノートパソコンやスマートフォンを使用した在宅勤務も可能になりました。また、新たな介護ソフトの導入により、非常時でも問題なくサービス継続に必要な情報を共有できるよう、体制強化に取り組んでいます。

(3) 職員資質向上と介護人材の確保・育成

①各種研修で業務に対する知識・技能の向上を図り、資質向上に努めました。

サービス提供責任者初任者研修 2名受講、同行援護 2名受講

②訪問介護員研修は、資料配布による自己学習形式で資質向上に努めました。

③介護福祉士・実務者研修等の各種資格取得の奨励・支援を行いました。
介護福祉士合格者 8名（内 1名をサービス提供責任者に登用予定）、
社会福祉士合格者 1名。

④職員の離職防止、より良い職場環境作りに努めました。

4. 事業実施体制

職 種	職員数
管 理 者	2 名
サービス提供責任者	8 名(管理者含)
訪問介護員 小計 (内訳)	130 名
介護福祉士	33 名(今年度 8)
実務者研修	7 名
ヘルパー1 級	2 名
ヘルパー2 級	45 名
介護職員初任者研修	43 名

【事業部 つるみ 24 訪問介護係】

1. 事業運営方針に関する取り組み

(1) 重度の利用者の受け入れ体制を強化し、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを安心して提供できました。

(2) 地域包括支援センター、訪問看護ステーション、その他、訪問介護事業所と連携を取り、地域高齢者が自立した日常生活を送れるよう支援に努めました。

(3) 拠点変更に伴い、馬場地域包括支援センターから鶴見地域包括支援センターに管轄変更となりました。協力体制再構築中ですが、地域ケア会議等への参加はまだできていません。

(4) 非常勤職員が 1 名増員となり、前年度より約 12%の増収増益となりました。

2. 事業実施目標に対する結果

	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	夜間対応型訪問介護
総利用者数（月平均）	145名（12名／月）	165名（13名／月）
サービス活動収益合計	45,026,238円	
サービス活動費用合計	36,463,894円	
サービス活動増減差額	8,562,344円	

*2023年3月費用合計は未収計のため2月度の費用合計を転用

- ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、利用者数（12名/月）において計画を達成することができました。更なる増収には常勤職員1名の増員が必須です。定期巡回サービスの周知啓発のため、営業活動を含め、ケアマネジャー宛ダイレクトメールの内容を見直ししていきます。

3. 事業実績報告

- (1) 契約時に定期巡回サービスは、短時間・頻回サービスが前提である事を利用者・ご家族に事前に説明し、体調変化時はサービス内容および訪問計画の見直しを行う旨を正しく理解していただくよう努めました。
- (2) 訪問介護計画のみに制限されず、利用者の状態変化を察知し、適切な訪問プランの見直しに努めました。
- (3) 自然災害、感染症等、不測の事態が発生しても事業を中断させないためにBCP（事業継続計画）を作成しました。
- (4) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護の事例等を毎月1回委託居宅介護支援事業所宛に配布継続します。また、ケアマネジャーへのヒアリングからサービスに対する課題を洗い出し、対応策を講じ、サービスの向上に努めました。

4. 事業実施体制

職種	従事する業務	職員数	常勤	非常勤
管理者	管理業務	1名	1名	0名
計画作成責任者	計画作成	5名（管理者含む）	4名	1名
オペレーター	緊急コール対応	8名（管理者含む）	4名	4名
訪問介護員	定期・随時訪問	11名（管理者含む）	4名	7名
訪問看護員	モニタリング	1名	0名	1名

常勤換算 7.3人

- ・委託居宅介護支援事業所 22事業所
- ・連携訪問看護事業所 13事業所
- ・連携訪問介護事業所 4事業所

【事業部 居宅介護支援課】

1. 事業運営方針に関する取り組み

事業運営方針に基づいて、適切なサービスの提供、研修への参加、他職種との連携を図りました。

- (1) 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、その利用者が可能な限りその居宅において有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の立場にたった援助を行いました。
- (2) 利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう、中立公正な立場でサービスを調整しました。
- (3) 事業の実施にあたっては、地域との結びつきを重視し、市町村、地域包括支援センター、老人介護支援センター、他の指定居宅介護支援事業者、指定介護予防支援事業者、指定居宅サービス事業者等、介護保険施設、住民による自発的な活動によるサービスを含めた地域における様々な取り組みを行う者等と密接な連携を図り、インフォーマルサービスを含め総合的なサービスの提供に努めました。

2. 事業実施目標に対する結果

(1) つるみ事業所

積極的な新規受け入れにより売り上げ・利用者件数が目標に達成することができました。地域包括支援センターからの担当依頼の指名や家族からの依頼が増え、件数増加に繋がりました。引き続き地域包括支援センターとの連携を図り、新規利用者の受け入れを行い目標値の達成に努めていきます。

(2) たすけあい事業所

困難ケースも共に新規受け入れを行っており、利用者件数目標を達成することができましたが、要介護度別の件数により、売り上げ目標は達成できませんでした。また今年度は、近隣有料老人ホームからの新規申し込みが増え、全体の17パーセントを占めています。引き続き、地域包括支援センターや近隣施設との連携を図り、目標値の達成に努めていきます。

3. 事業実施報告

(1) 主任介護支援専門員の育成について

- ①主任介護支援専門員研修について、つるみ事業所職員1名が修了しました。つるみ、たすけあい両事業所の全員が主任介護支援専門員を取得しました。

②スーパービジョン

全員が主任介護支援専門員になり職員同士では初めての個別スーパー

ビジョンを実施しました。これにより職員同士の信頼関係がより深まり、一人で不安を抱えることのないように支え合うことの大切さを学ぶことができました。今後も継続的に実施し、自己研鑽し、支援に努めていきます。

(2) BCP (事業継続計画)、ICT の活用について

- ①新型コロナウイルス等の感染症や災害発生時に安定的・継続的にサービスを提供できるよう BCP を策定中です。次年度以降も継続して行っていきます。
- ②情報機器 (ノートパソコン、スマートフォン、タブレット) を使用し、在宅勤務を継続します。
また、LINE 等のメッセージアプリを使用し法人内での連絡、情報交換等をスムーズに行っています。

(3) 研修

①外部研修

- ・2022 年度 神奈川県介護支援専門員研修過程Ⅱ (2 名)
(2022 年 11 月～12 月)
 - ・2022 年度 神奈川県主任介護支援専門員研修 (1 名)
(2022 年 9 月～11 月)
 - ・2022 年度 神奈川県主任介護支援専門員更新研修 (2 名)
(2022 年 9 月～11 月)
 - ・地域包括支援センターや医療機関の研修に参加し、各関連機関との連携やさまざまなケースに対応できるよう学びました。新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、オンラインでの研修がメインとなりました。
- | | | | | |
|---------|---------|------|--------|------|
| 〈つるみ〉 | オンライン研修 | 30 回 | 会場での研修 | 17 回 |
| 〈たすけあい〉 | オンライン研修 | 39 回 | 会場での研修 | 12 回 |

②内部研修

令和 4 年度「質の高いケアマネジメント推進のための共同研修会」

実施日：2022 年 10 月 25 日

開催場所：鶴見中央地域ケアプラザ

講師：鶴見区基幹相談支援センター

相談員 山木 暢彦 氏・稲葉 麻美 氏

配布資料：「障害サービスの制度について」パワーポイント資料、
高齢障害福祉サービス等給付費などのご案内、用語解説

参加者：つるみ事業所 4 名 (欠席 1 名)、たすけあい事業所 6 名、
ももたろう居宅介護事業所 2 名、鶴見中央地域ケアプラザ 1 名
合計 13 名

《内容》

障害サービスの制度を理解し介護保険制度との併用を円滑に進めることができるように、障害福祉サービスの利用方法、手帳や各種医療制度について具体的な説明を受けました。また、グループワーク

では事例検討後の発表、質疑応答により、障害の制度や支援の実際などについて知識を深めることができました。

③各部署企画の研修

自己学習形式での法人全体の研修(2022年11月、2023年3月)に参加し、認知症への理解や虐待についての知識を深めました。今後も他部署企画の研修が開催された際には参加し、学びの機会を持てるようにしていきます。

(4) 情報公表・第三者評価

①情報公表

調査票提出日 <つ る み> 2022年10月26日

<たすけあい> 2022年11月4日

②第三者評価 評点は別紙付属明細書を参照

ア) 自己評価

<つ る み> 総合点 100点 実施日 2023年3月8日

<たすけあい> 総合点 100点 実施日 2023年3月16日

マニュアルの見直しや内容の周知を行い高い評点となりました。今後も高い水準で実施できるよう継続していきます。

イ) 利用者評価

実施期間 2022年7月1日～7月31日

評価結果公開日 2022年8月2日

<つ る み> 総合点 92.9点 回収率 100%

総合点、各項目の評点すべてで前年度より高い点数となりました。課題となっていた「利用者への説明」も88.3点とこれまでと比べ高評価を頂くことができました。引き続き介護保険制度についての知識をより一層深めるとともに、わかりやすく丁寧な説明を行い、支援に努めていきます。

<たすけあい> 総合点 86.6点 回収率 100%

総合点は前年度より低い評価となりました。「利用者への説明」は、わずかに評価が上がり改善点が生かされました。その他の領域は前年度より低い評価となってしまいました。職員に周知し対人援助の基礎を意識しながら、分かりやすく的確かつ具体的な説明を行い、支援に努めていきます。

4. 事業実施体制

(1) つるみ

職 種	区 分	保有資格
管 理 者	常勤兼務 1名	主任介護支援専門員
管理者以外の介護支援専門員	常勤専従 4名	主任介護支援専門員

(2) たすけあい

職 種	区 分	保有資格
管 理 者	常勤兼務 1名	主任介護支援専門員
管理者以外の介護支援専門員	常勤専従 3名	主任介護支援専門員
	非常勤専従 2名	主任介護支援専門員

【事業部 福祉用具課】

1. 事業運営方針に関する取り組み

(1) データ管理方法の改善

所属員一丸となり業務の改善に努め、訪問記録や福祉用具計画書等を介護ソフトに入力し、データ管理を推進しました。その結果、業務効率が向上しました。

(2) 利用者アンケートの実施

今年度も利用者アンケートを実施し、利用者と家族の意向を確認しました。平素から心がけている「気づき、考え、行動する」を遂行した結果、8割の方から満足していると回答をいただきました。今後も引き続き利用者から信頼され必要とされる事業所であり続けられる様に尽力していきます。

(3) 次年度への課題

長引く新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者に存分に働きかけることが出来ませんでした。今後も利用者からのニーズに応えられるよう迅速で的確な対応を心がけていきます。

2. 事業実施目標に対する結果

事業所	2022年度売上目標 (構成比)	2022年度売上実績 (構成比)
自法人	30,780,000 (82.6%)	25,972,871 (85.1%)
たすけあい	14,890,000 (39.9%)	12,550,559 (41.1%)
つるみ	15,890,000 (42.7%)	13,422,312 (44.0%)
委託 (自法人外)	6,500,000 (17.4%)	4,551,163 (14.9%)
合 計	37,280,000 円	30,524,034 円

目標達成率 (たすけあい) 84.3% (つるみ) 84.5% (委託) 70.0% (全体) 81.9%

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が目標値に届かず低調となってしまいました。

新型コロナウイルス以外の要因としては、長期契約者の契約終了の増加と介護用品市場の低価格化により、貸与価格も低下したことが考えられます。

しかし、その中でも福祉用具販売に関しては前年の121%と好調で、8月から11月にかけて減少した利用者数もその後は新規利用者が少しずつ増えている状況でした。次年度は営業活動を強化し、貸与・販売双方で売り上げ増加に努めていきます。

3. 事業実績報告

(1) 営業力の強化

- ① コロナ禍であっても国際福祉機器展(H.C.R.)、パラマウントケアのセミナー、ニチイケアネットによる展示・研修会や各種勉強会に積極的に参加し、福祉用具専門相談員としての知識を高めることが出来ました。6月には、習得した情報や知識を共有するため、一部のヘルパーを対象に「車いすの勉強会」を開催し、高評価を得ました。次年度も自部門からの情報提供を積極的に行い、勉強会等の開催をします。
- ② 人員不足と新型コロナウイルス感染症の影響の為、全利用者の定期的な点検が出来ませんでした。11月からの職員増員に伴い定期的に部署内で連絡会議を開催し、情報共有・連携強化等の改善を図りました。これにより、迅速な定期点検の実施、ケアマネジャーや関係部門との情報提供の強化を図ることが出来ました。その結果が情報公表のお客様アンケートにおいて8割の利用者からの高い評価につながりました。今後も継続して対応していきます。
- ③ 委託の事業所には積極的な訪問ができず、既存の利用者へのフォローのみに留まりました。既存利用者の終了後も継続的な居宅支援事業所へのアプローチが出来ませんでした。次年度はこの反省点を改善すべく、取り組んでいきます。

(2) 職員研修

下記の研修およびセミナー（対面・オンライン）に積極的に参加し、専門性やスキルアップを図ることが出来ました。

- ① 「横浜市福祉用具貸与サービス適正のための計画点検事業講習会」
（10月28日開催）
理学療法士視点からの福祉用具選定・点検方法等を学ぶ
- ② 国際福祉機器展(H.C.R.)（10月5～7日開催）
- ③ メーカーの用具研修（5/16、6/15、11/22、12/14のうち3回開催）
- ④ BCP（事業継続計画）セミナー（4月～8月まで計5回開催）
- ⑤ 民介協によるBCPセミナー（3月9日開催）
- ⑥ 鶴の学び舎研修（年2回紙面による自己学習形式開催）

(3) 業務効率化による生産性向上の促進

介護ソフトを使用し、データ化を推進しました。これにより有益な情報が蓄積・共有され、生産性の向上につながりました。今後も業務効率化に努めます。

(4) 人材育成

11月から1名が入職し、福祉用具専門相談員の講習を受講しました。また定期的に内部会議を行うことにより、各人の保有情報の連携や提案、売り上げに関する分析等、様々な面で意見交換や情報共有を行っています。福祉用具専門相談員として切磋琢磨しながら目標達成に向けて尽力しています。

4. 事業実施体制

職 種	職員数	常勤	非常勤	保有資格
管 理 者	1名	1名	0名	福祉用具専門相談員
福祉用具専門相談員	3名 (管理者含む)	3名 (管理者含む)	0名	福祉用具専門相談員 介護福祉士(内1名)

【障害福祉部 障害福祉課】

1. 事業運営方針に関する取り組み

- (1) 障害者の生活を支援するため、住居・就労・趣味・健康づくり・余暇活動など生活全般にわたる自立への支援を行いました。
- (2) 温かい人間関係の中で、安全で開かれた明るい生活ができることを目指しました。

2. 事業実施目標に対する結果

- (1) 全利用者に計画相談支援を実施することで、より良い支援となるよう取り組みました。
 - ①グループホームでの生活、作業所「つるの里」での就労・生活について、施設職員が見守り、寄り添い、必要な助言・的確な支援を行いました。
 - ②利用者の意向や状況、保護者の意見を把握し、支援員、ソーシャルワーカー、看護師、栄養士、作業療法士等の専門職と連携してカンファレンスを行い、的確に対応しました。
 - ③グループホームでは、看護師との医療連携体制を構築して重度化防止対応を行いました。

(2) 利用者数

事業所名	利用実績	備考
つるの里		
生活介護	12名	
就労継続支援B型	9名	
ケアホーム らら	8名	うちサテライト 1名
ケアホーム りり	8名	うちサテライト 1名
ケアホーム るる	7名	うちサテライト 1名
ケアホーム もも	7名	
グループホームすず	6名	

3. 事業実施報告

(1) 職員の資質向上と人材育成に取り組みました。(集合研修・オンライン研修の受講)

①外部研修

- ・横浜市健康福祉局障害福祉部等
(障害者虐待防止研修・人権擁護研修等)
- ・横浜市社会福祉協議会等
(資質向上のための育成・情報共有等を学ぶ)
- ・社会福祉法人藤沢育成会 湘南ゆうき村
(強度行動障害支援力向上研修等)
- ・公益社団法人かながわ福祉サービス振興会
(サービス管理責任者更新研修等)

②内部研修

- ・法人全体研修等(自己学習方式(年2回)での研修)

(2) 鶴見区障害児者団体連合会など、加盟する団体の文化・スポーツ・広報活動に積極的に参加する予定でしたが、コロナ禍での開催が難しく、多くの活動が中止となりました。

<具体的な活動>

①開催された活動：ラポール美術展(出展・見学)

②中止となった活動

ふれあい運動会、ふれあい文化発表会、障害者週間キャンペーン(ティッシュ配布、パネル展示会)、赤い羽根共同募金(鶴見駅周辺)等

(3) 地域の自治会・町内会や、区役所、関係団体のイベントに参画し、交流を深めることで、利用者の地域における生活を豊かなものとし、また、近隣住民にも広く知ってもらえる開かれた施設を目指しましたが、コロナ禍での開催が難しく、多くの活動が中止となりました。

<具体的なイベント参加>

①開催されたイベント：鶴見駅 CIAL 販売

②中止となったイベント

障害者週間区役所ロビー販売（鶴見区役所）、夏祭り（川島町内会、生麦町内会）、鶴っ子部会区役所販売（鶴見区役所）

(4) 施設の実施する事業を様々な機会をとらえて開催し、利用者相互の交流を深めました。

〈具体的な事業・イベント〉

- ・初詣参拝・誕生会・お花見ハイキング・七夕祭り・夏祭りと花火大会
- ・クリスマス会・節分豆まき・音楽教室・ハロウィンお楽しみ会

(5) 就労作業の充実を図りました。

- ・パン工場の製品作り
- ・農作業
- ・各種製品作り

(6) 施設外就労（公園清掃）を実施しました。

- ・岸谷公園 5 回
- ・東寺尾別所公園 5 回

※ 事業所ごとの行事内容については、別紙参照

4. 事業実施体制

事業所名	管理者	サービス管理責任者	世話人	生活支援員	職業指導員	看護師	医師
つるの里							
生活介護	1名	1名		7名		1名	1名
就労継続支援B型	1名	1名		2名	3名		
グループホーム							
らら	1名	1名	4名	5名			
りり	1名	1名	3名	4名			
るる	1名	1名	4名	4名			
もも	1名	1名	4名	4名			
すず	1名	1名	4名	4名			

5. 危機管理体制の整備

グループホーム、作業所の利用者及び保護者との連携を基に事前の取り決めを行い、様々な状況に対応できるように、各事業所の基本的な「応急対策の流れ」「災害時の安否確認利用者リスト」等、全ての災害発生時の対応マニュアルの見直しをしました。さまざまなリスクについて発生を抑制するための方策を検討し、影響度の大きさに従いリスク防止対策を実行しました。

6. BCP（事業継続計画）の作成

入所系（共同生活援助）と通所系（生活介護・就労継続支援B型）について、BCP（事業継続計画）を策定しました。計画に従い必要な研修及び訓練を実施しました。

- (1) 新型コロナウイルス感染(疑い)者発生時 → 平時対応(1)～(8)項目
- (2) 新型コロナウイルス疑い事例発生時 → 対応フローチャート 1～4 項目
- (3) 自然災害発生における BCP（事業継続計画）を策定しました。

緊急時の対応策・対応力を向上させることで安定的・継続的にサービス

提供できます。この体制整備のため、今後も継続的に計画書の見直しを行います。

7. 障害者虐待防止法（虐待防止委員会の開催）

- (1) 利用者の人権の擁護、虐待の防止等の為、次の措置を講じました。
（責任者の選定、研修の実施、成年後見制度支援、検討委員会の定期的開催等）
- (2) 年度計画に沿い月1回「虐待防止委員会」を開催し、部門別に事例検討を行い、職員への周知徹底を図りました。

8. 身体拘束等の適正化

- (1) 事業所は、サービスの提供に当たり、本人又は他の利用者の生命、又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除いて、身体的拘束及びその他の行動制限の一切を行わないものとし、支援を行いました。
- (2) 適正化のための対策検討委員会を定期的で開催し、身体拘束等の指針を整備し、職員に周知徹底を行いました。

9. 衛生管理(対応指針)の徹底

感染症の予防及びまん延防止に努め、感染防止に関する対策を協議し、研修や訓練を実施し、感染対策の資質向上に努めました。

感染者発生の際には、徹底した感染対策を施すことで感染被害を最小限に抑えることができました。

10. 非常時及び災害発生を想定した対応

- (1) 事業所は年2回の避難訓練を実施し、地域防災拠点(指定避難所)及び広域避難場所を、職員と利用者の全員で確認しました。
- (2) 災害発生時は、原則として事業所を連絡拠点とし、可能な限り被害状況の把握と利用者の安否確認を行うよう周知徹底を図りました。
- (3) 非常時において定める、防災マニュアル・消防計画書に沿ってよりの確に対応できるよう手順の確認を行いました。

【障害福祉部 つるみ計画相談支援係】

1. 事業運営方針に関する取り組み

- (1) 区地域自立支援協議会、区基幹相談支援センター等の関係機関と連携を図り、自立支援協議会の各部会に出席しました。
- (2) 個別支援会議の開催を通し、他事業との連携を図りました。

つるみ	個別支援会議及びモニタリングの回数	364回
-----	-------------------	------

(3) 各部会、事例検討会に出席し連携を図りました。

つるみ	出席した部会、事例検討会の回数	12回
-----	-----------------	-----

①相談部会：7回

当事業所からの事例提供により臨時で事例検討会が開催されました。

【医療連携（注射が打てない人）について】

②担当者会議：4回

③3部会合同事例検討会：1回

相談部会が中心になり、3事例同時に事例検討を行いました。当事業所からは司会・書記での参加をしました。

2. 事業目標に対する結果

	目標値	実績	達成率
つるみ	85件	83件	97.6%

- ・長期入院やご逝去・転居等でサービスの終了者が5名いました。
- ・新規受入を積極的に行い、契約をしているが、困難ケースやサービス利用内容が決まらない為、サービス提供開始が次年度4月からになってしまう方が3名いました。
- ・基本相談の増加に伴うサービス内容の変更による計画書の変更・モニタリングの追加、加算の追加があり、売上収入は目標値より増加しました。

3. 事業実績報告

(1) 危機管理

- ① 個人情報保護規程により、適切に個人情報管理に対応しました。
- ② 新型コロナウイルス等の感染症や大規模災害の発生に備え、BCP（事業継続計画）の策定を行いました。（変更等により作成継続中）

(2) 職員研修

① 外部研修

ア) 区地域自立支援協議会主催の相談支援部会研修（年3回）

5月 虐待防止法について（講師：横浜市健康福祉局）

9月 精神障害の理解と支援のワンポイント

（講師：湘南精神保健福祉士事務所 長見 秀和 氏）

1月 障害者の8050問題

（講師：（一社）全国手をつなぐ育成会連合会

常務理事 又村 あおい 氏）

イ) 区基幹相談支援センター研修

上記研修は、相談部会研修との合同主催となっています。

ウ) 他研修

- ・相談支援現任研修（2022年11月～2023年1月）
- ・障害者支援の障害特性支援方法の理解（8月）

「地域移行・定着支援」の仕組みや制度の理解

主催：神奈川県（精神障害者支援体制加算対象研修）

- ・発達障害相談基礎研修（2022年10月オンライン研修）

主催：横浜市（横浜市発達障害者支援センター）

- ・強度行動障害支援者養成研修（2022年2月実践研修）

主催：神奈川県（強度行動者支援体制加算対象研修）

- ・発達障害相談実践研修（2022年2月オンライン研修）

主催：横浜市（横浜市発達障害者支援センター）

②内部研修

鶴の学び舎（年2回）：鶴の学び舎の紙面による研修に参加しました。

③定例会議

利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に係る伝達等を目的とした部署内会議（週1回）を行いました。

（3）地域・関係機関との連携

自立支援協議会、区基幹相談支援センター、区精神障害者生活支援センター、その他関係機関との連携を図り、各機関で開催のカンファレンスに2ヶ月に1回の頻度で参加しました。

4. 事業実施体制

	業務	職員数	常勤	非常勤
管理者	管理業務	1名	1名	0名
相談支援専門員	計画相談支援	2名	2名	0名

2022年度 実績数値

事業部 訪問介護課

	訪問介護課目標		訪問介護課実績		達成率(%)	
	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入
2022年4月	365	16,800,000	390	16,154,533	104.1%	96.2%
5月	368	16,950,000	393	16,818,932	104.1%	99.2%
6月	371	17,050,000	387	16,386,377	104.3%	96.1%
7月	374	17,200,000	393	16,109,972	102.4%	93.7%
8月	377	17,300,000	378	15,546,523	100.3%	89.8%
9月	380	17,400,000	389	16,653,282	102.4%	95.7%
10月	383	17,550,000	386	16,382,386	100.8%	93.3%
11月	386	17,650,000	373	16,091,112	96.6%	91.2%
12月	389	17,800,000	372	15,620,657	95.6%	87.8%
2023年1月	392	17,950,000	370	14,533,113	94.4%	81.0%
2月	395	18,050,000	364	13,903,514	92.2%	77.0%
3月	398	18,200,000	369	16,128,240	92.7%	88.6%
延べ人数/ 年間合計	4,578	209,900,000	4,534	190,328,641	99.0%	90.7%

※ 2022年10月以降の実績は、つるみ事業所分を含む

事業部 つるみ24 訪問介護係

	つるみ24訪問介護係目標		つるみ24訪問介護係実績		達成率(%)	
	利用者数 実績/目標	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入
2022年4月	24	3,404,500	26	3,459,092	108.3%	101.6%
5月	24	3,404,500	24	3,450,525	100.0%	101.4%
6月	24	3,404,500	26	3,712,550	108.3%	109.0%
7月	24	3,404,500	26	3,979,324	108.3%	116.9%
8月	24	3,404,500	24	3,719,485	100.0%	109.3%
9月	24	3,404,500	24	4,176,144	100.0%	122.7%
10月	24	3,404,500	25	3,701,675	104.2%	108.7%
11月	24	3,404,500	26	3,729,507	108.3%	109.5%
12月	24	3,404,500	25	3,567,344	104.2%	104.8%
2023年1月	24	3,404,500	26	3,854,197	108.3%	113.2%
2月	24	3,404,500	29	3,660,261	120.8%	107.5%
3月	24	3,404,500	30	4,016,134	125.0%	118.0%
延べ人数/ 年間合計	288	40,854,000	311	45,026,238	108.0%	110.2%

事業部 居宅介護支援課

	つるみ 居宅介護支援係目標		たすけあい 居宅介護支援係目標		つるみ 居宅介護支援係実績		達成率(%)		たすけあい 居宅介護支援係実績		達成率(%)	
	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入
2022年4月	153	2,530,000	149	2,653,000	179	2,790,571	117.0%	110.3%	175	2,642,984	117.4%	99.6%
5月	154	2,546,000	150	2,671,000	181	2,745,143	117.5%	107.8%	167	2,568,744	111.3%	96.2%
6月	155	2,550,000	151	2,685,000	170	2,599,626	109.7%	101.9%	173	2,577,995	114.6%	96.0%
7月	156	2,576,000	151.5	2,689,000	173	2,654,799	110.9%	103.1%	169	2,561,696	111.6%	95.3%
8月	157	2,596,000	152.5	2,707,000	170	2,558,619	108.3%	98.6%	173	2,583,311	113.4%	94.7%
9月	157.5	2,600,000	153.5	2,721,000	172	2,629,370	109.2%	101.1%	179	2,668,184	116.6%	98.1%
10月	158.5	2,616,000	154	2,725,000	182	2,644,089	114.8%	108.7%	175	2,662,774	113.6%	97.7%
11月	159.5	2,636,000	155	2,743,000	179	2,736,806	112.2%	103.8%	175	2,622,330	112.9%	95.6%
12月	160.5	2,652,000	156	2,757,000	180	2,772,193	112.1%	104.5%	186	2,844,049	119.2%	103.2%
2023年1月	161.5	2,660,000	156.5	2,761,000	181	2,836,914	112.1%	106.7%	180	2,782,706	115.0%	100.8%
2月	162.5	2,680,000	157.5	2,779,000	191	3,009,467	117.5%	112.3%	177	2,624,609	112.4%	94.4%
3月	163	2,684,000	158.5	2,793,000	190	2,989,396	116.6%	111.4%	179	2,716,226	112.9%	97.3%
延べ人数/ 年間合計	1,898	31,326,000	1,845	32,684,000	2,148	33,168,993	113.2%	105.9%	2,108	31,836,378	114.3%	97.4%

2022年度 実績数値

事業部 福祉用具課

	福祉用具課目標		福祉用具課実績		達成率	
	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入
2022年4月	160	3,100,000	154	2,747,905	96.3%	88.6%
5月	165	3,100,000	163	3,090,290	92.7%	89.7%
6月	170	3,100,000	160	2,412,090	88.2%	77.8%
7月	175	3,100,000	158	2,728,166	90.3%	88.0%
8月	178	3,100,000	144	2,377,084	80.9%	76.7%
9月	180	3,100,000	146	2,444,994	81.1%	78.9%
10月	182	3,100,000	156	2,483,924	85.7%	80.1%
11月	184	3,100,000	144	2,369,630	78.3%	76.4%
12月	186	3,100,000	157	2,507,523	84.4%	80.9%
2023年1月	188	3,100,000	149	2,392,050	79.3%	77.2%
2月	190	3,100,000	147	2,489,162	77.4%	80.3%
3月	195	3,180,000	151	2,698,585	77.4%	84.9%
延べ人数/ 年間合計	2,153	37,280,000	1,809	30,741,403	84.0%	82.5%

障害福祉部 障害福祉課

	障害福祉課目標		障害福祉課実績		達成率(%)	
	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入
2022年4月	56	17,200,000	57	17,385,312	101.8%	101.1%
5月	56	17,250,000	57	17,278,281	101.8%	100.2%
6月	59	17,550,000	57	17,839,897	96.6%	101.7%
7月	59	17,650,000	57	17,003,250	96.6%	96.3%
8月	59	17,650,000	57	16,653,289	96.6%	94.4%
9月	60	17,750,000	57	16,688,458	95.0%	93.5%
10月	60	17,750,000	56	17,090,904	93.3%	96.3%
11月	60	17,750,000	56	16,371,840	93.3%	92.2%
12月	61	17,800,000	56	16,650,641	91.8%	93.0%
2023年1月	62	17,900,000	56	15,752,333	90.3%	88.0%
2月	62	17,400,000	57	15,754,245	91.9%	90.5%
3月	62	18,100,000	57	17,200,000	91.9%	95.0%
延べ人数/ 年間合計	716	211,750,000	680	201,468,460	95.0%	95.1%

障害福祉部 つるみ計画相談支援係

	つるみ 計画相談支援係目標		つるみ 計画相談支援係実績		達成率(%)	
	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入	利用者数	売上収入
2022年4月	17/81	310,000	24/81	419,228	141.1%	135.2%
5月	34/81	577,000	40/82	747,512	117.6%	128.6%
6月	29/81	499,000	37/82	675,456	132.1%	135.4%
7月	18/82	326,000	27/82	528,384	150.0%	162.1%
8月	33/82	561,000	37/82	612,704	112.1%	109.2%
9月	26/83	483,000	28/82	545,284	107.4%	112.9%
10月	17/83	310,000	19/82	399,304	111.8%	128.8%
11月	34/84	577,000	36/82	666,344	105.9%	115.5%
12月	29/84	499,000	31/82	575,948	106.9%	116.4%
2023年1月	18/85	326,000	20/82	412,768	111.1%	126.6%
2月	33/85	561,000	35/83	660,252	106.1%	117.7%
3月	28/85	483,000	29/83	653,220	103.6%	114.5%
延べ人数/ 年間合計	318/85	5,512,000	364/83	6,805,408	114.5%	123.5%

※利用者数 A/B:A=計画作成及びモニタリング実施人数 B=契約者総数

2022 年度事業報告 付屬明細書

【法人全体（共通）】

1. 職員基礎データ（2023年3月31日現在）

(1) 性別

	内勤職員		登録訪問介護員		合計		備考
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
男性	19名	19.8%	5名	5.0%	24名	12.2%	
女性	77名	80.2%	96名	95.0%	173名	87.8%	
合計	96名	100%	101名	100%	197名	100%	

(2) 種別

	内勤職員		登録訪問介護員		合計		備考
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
常勤	45名	46.9%	0名	0.0%	45名	22.8%	
契約	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	
非常勤	51名	53.1%	101名	100%	152名	77.2%	
合計	96名	100%	101名	100%	197名	100%	

(3) 年齢構成

	内勤職員		登録訪問介護員		合計		備考
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
20歳代	0名	0.0%	0名	0.0%	0名	0.0%	
30歳代	5名	5.2%	2名	2.0%	7名	3.6%	
40歳代	21名	21.9%	12名	11.9%	33名	16.8%	
50歳代	29名	30.1%	35名	34.5%	64名	32.3%	
60歳代	23名	24.0%	24名	23.8%	47名	23.9%	
70歳代	14名	14.6%	24名	23.8%	38名	19.3%	
80歳代	4名	4.2%	4名	4.0%	8名	4.1%	
合計	96名	100%	101名	100%	197名	100%	

2. 規程類および様式等の制定、改正

制定	規程等の名称	施行	備考
2020/12	資格取得のための研修受講料等支援事業実施規程	2023/2/1	

3. 経営企画会議の開催

No.	定例	期日	主要議題
1	4月	4/27	事業実績報告、各担当の報告と課題、処遇改善補助金について、総合保険加入について
2	5月	5/25	事業実績報告、各担当の報告と課題、社有車安全管理（ドライブレコーダー取付）について
3	6月	6/29	事業実績報告、各担当の報告と課題、夏季賞与について、新型コロナワクチン接種（4回目）について
4	7月	7/27	事業実績報告、各担当の報告と課題、名入りカレンダー発注について
5	8月	8/31	事業実績報告、各担当の報告と課題、新型コロナウイルス感染症見舞金（保険）支給について
6	9月	9/28	事業実績報告、各担当の報告と課題、時間外申請について、年始挨拶状について
7	10月	10/26	事業実績報告、各担当の報告と課題、冬季賞与について、各予防接種について
8	11月	11/30	事業実績報告、各担当の報告と課題、年末年始特別勤務手当について
9	12月	12/21	事業実績報告、各担当の報告と課題
10	1月	1/25	事業実績報告、各担当の報告と課題、事業計画の策定について、年次有給休暇の取得について
11	2月	2/22	事業実績報告、各担当の報告と課題
12	3月	3/29	事業実績報告、各担当の報告と課題

4. 事故報告

【部署別】

部署名 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
法人本部総務		1	1	1		1							4
つるみ訪介								2	1		1		4
つるみ居宅・相談								1			1	1	3
福祉用具			1										1
たすけあい総務													
たすけあい訪介		1	3	3	2	1			1	1		1	13
たすけあい居宅		1											1
つるみ24	2	2	2		1	1	2			2	1		13
つるの里					1					1			2
ケアホームらら													
ケアホームりり													
ケアホームるる			1										1
ケアホームもも													
グループホームすず											1		1
月別小計	2	5	8	4	4	3	2	3	2	4	4	2	43

【種類別】

種類 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計
①誤与薬		1				1	1				2		5
②サービス提供漏れ手配忘れ、遅刻			1		2			2		1			6
③サービス利用手続ミス、誤請求		2		1							1		4
④依頼受付内容処理漏れ													
⑤誤送付・誤送信								1					1
⑥体調不良、転倒、怪我	1		1	1	1					1			5
⑦障害当事者の第三者への他害			1										1
⑧当事者行方不明									1	1			2

⑨物品破損・紛失	1		1	2	1	1			1	1	1	1	10
⑩信用失墜行為、不誠実な対応												1	1
⑪交通事故・車破損			2				1						3
⑫給与算定ミス		1	1			1							3
⑬不慮の事故死													
⑭外部との連絡ミス、データ管理ミス		1	1										2
月別小計	2	5	8	4	4	3	2	3	2	4	4	2	43

【事業部 居宅介護支援課】

1. 評価結果（福祉協会つるみ 居宅介護支援） 別紙参照
2. 評価結果（福祉協会たすけあい 居宅介護支援） 別紙参照

【事業部 福祉用具課】

評価結果（福祉協会つるみ 福祉用具貸与・特定福祉用具販売） 別紙参照

評価結果

事業所情報

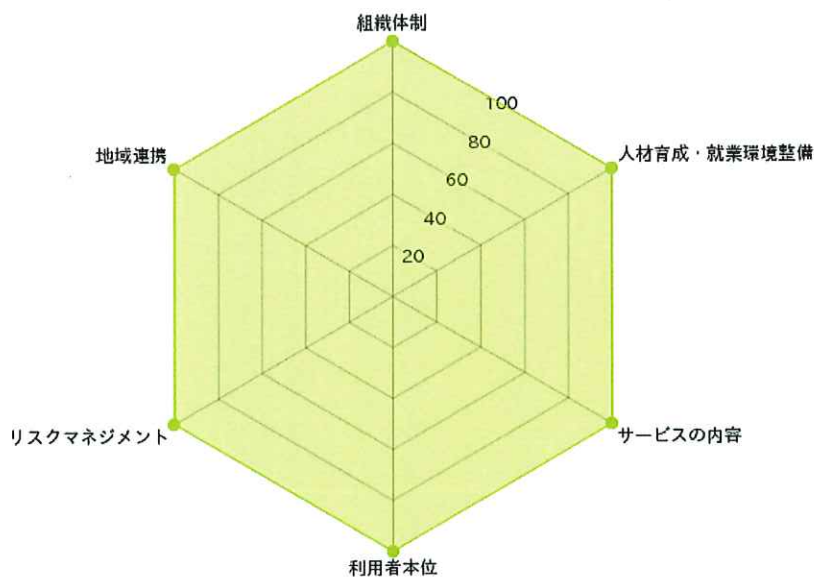
法人名	社会福祉法人あさひ
事業所名	福祉協会つるみ
事業所番号	1470103357
所在地	横浜市鶴見区豊岡町7-10パーライトビル8F
サービス種別	居宅介護支援

事業所自己評価

実施日: 2023年 3月 8日

評価領域	管理者評点
組織体制	100
人材育成・就業環境整備	100
サービスの内容	100
利用者本位	100
リスクマネジメント	100
地域連携	100

総合点
100



評価結果

利用者評価

2022/8/2

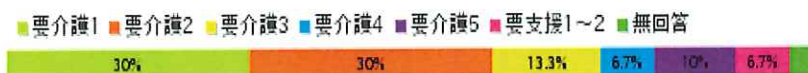
【回収結果】

配布数: 30
回収数: 30
回収率: 100%

【回答者属性】

平均年齢: 84.2

要介護度:



性別:



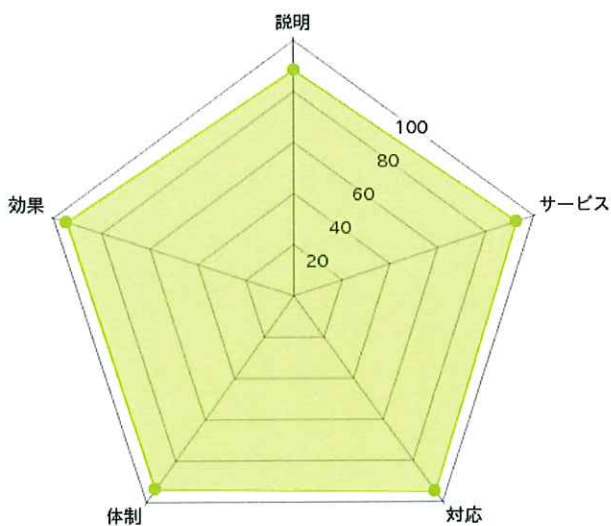
記入者:



【評点】

評価領域	評点
説明	88.3
サービス	92.9
対応	95.2
体制	93.9
効果	94.4

総合点	92.9
-----	------



評価結果

事業所情報

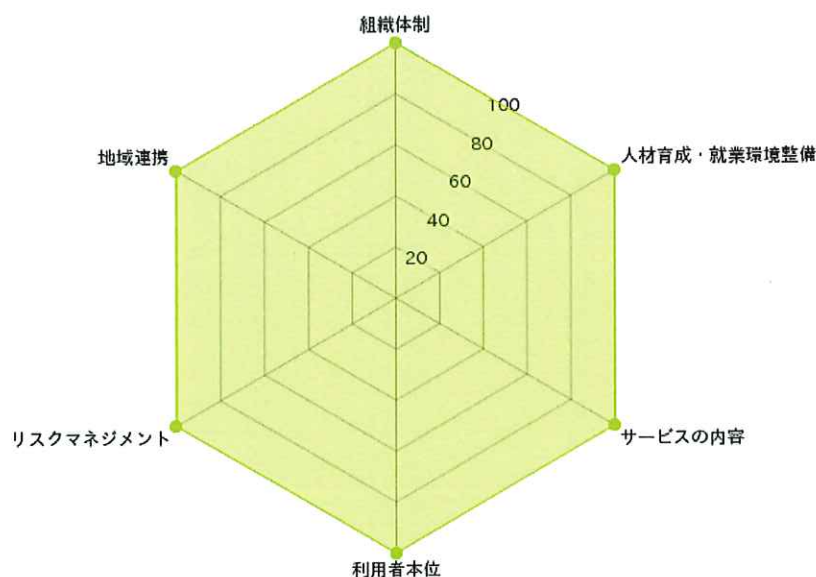
法人名	社会福祉法人あさひ
事業所名	福祉協会たすけあい
事業所番号	1470903392
所在地	横浜市港北区菊名6-2-11
サービス種別	居宅介護支援

事業所自己評価

実施日: 2023年 3月 16日

評価領域	管理者評点
組織体制	100
人材育成・就業環境整備	100
サービスの内容	100
利用者本位	100
リスクマネジメント	100
地域連携	100

総合点
100



評価結果

利用者評価

2022/8/2

【回収結果】

配布数: 30
回収数: 30
回収率: 100%

【回答者属性】

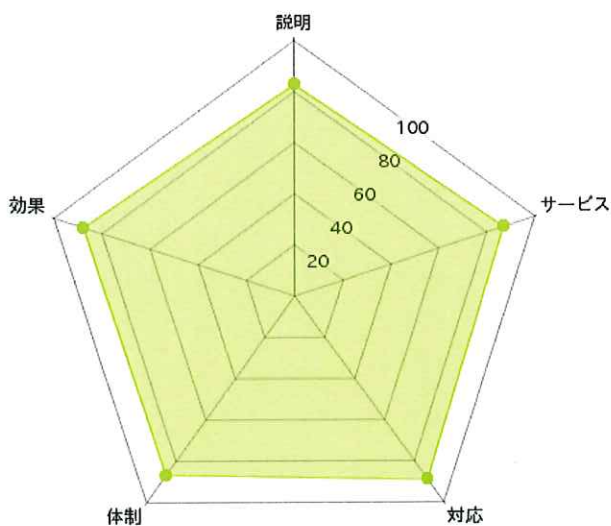
平均年齢: 83.8



【評点】

評価領域	評点
説明	82.6
サービス	87
対応	89.1
体制	86.7
効果	87.7

総合点	86.6
-----	------



評価結果

事業所情報

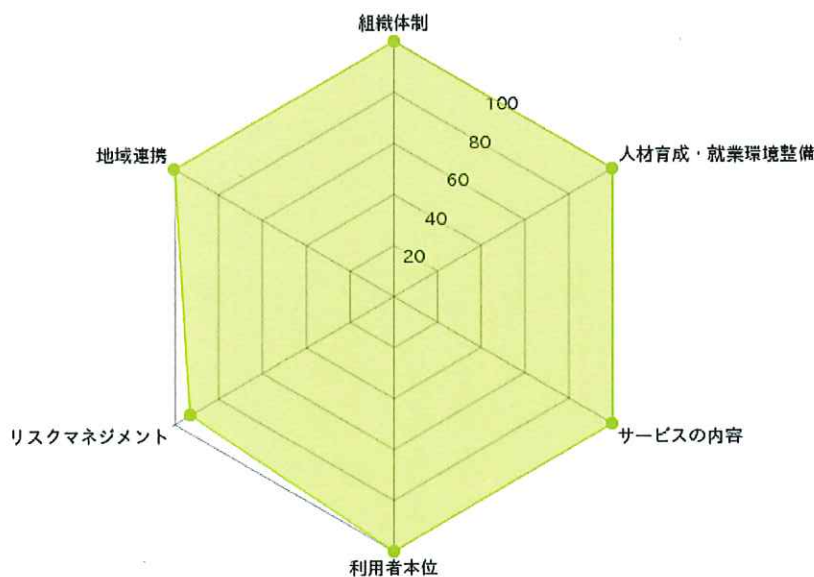
法人名	社会福祉法人あさひ
事業所名	福祉協会つるみ
事業所番号	1470903970
所在地	横浜市港北区菊名6-2-11-203
サービス種別	福祉用具貸与・特定福祉用具販売

事業所自己評価

実施日: 2022年 11月 22日

評価領域	管理者評点
組織体制	100
人材育成・就業環境整備	100
サービスの内容	100
利用者本位	100
リスクマネジメント	92.9
地域連携	100

総合点
98.7



評価結果

利用者評価

2022/11/22

【回収結果】

配布数: 30
回収数: 28
回収率: 93.3%

【回答者属性】

平均年齢: 82.7

要介護度:



性別:



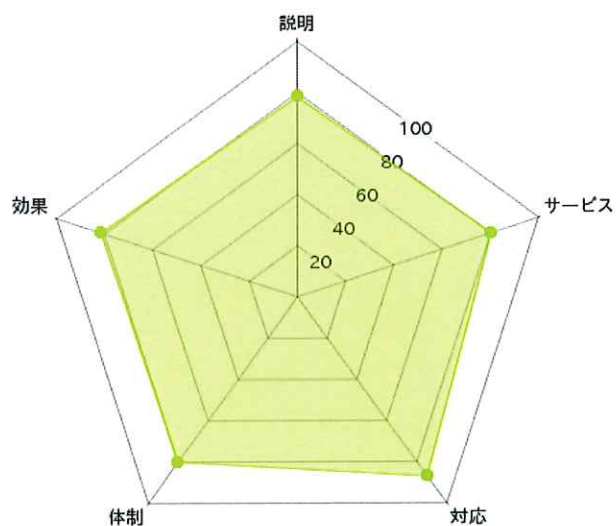
記入者:



【評点】

評価領域	評点
説明	78.3
サービス	80.4
対応	87.1
体制	80.1
効果	81.4

総合点	81.5
-----	------



【障害福祉部門】

1. 共催事業（鶴見区鶴っ子部会・鶴見区社会福祉協議会）

No.	名 称	開催月		参加者
1	障害者週間キャンペーン パネル展示	12月	鶴見区役所ロビー	10

2. 他団体・地域参加と交流

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	横浜商科大学販売	6/21 11/4	横浜商科大学	4	
2	ラポール美術展出展・見学	10/18 ～ 10/20	横浜ラポール	26	
3	鶴っ子部会鶴見シャル販売	11/20	鶴見駅東口ビル シャル	6	

3. 内部事業 利用者相互の交流

1) 誕生日会

No.	期 日	場 所	該当人数	参加者	備 考
1	4/17	ケアホームらら	1	10	
2	4/22	ケアホームもも	2	9	
3	4/22	つるの里	1	23	1F、2Fに分けて実施
4	5/19	つるの里	1	23	1F、2Fに分けて実施
5	5/25	ケアホームらら	1	9	
		ケアホームりり	1	10	
6	6/22	ケアホームもも	1	9	
7	6/26	ケアホームらら	1	10	
		ケアホームりり	1	10	
8	6/28	ケアホームるる	1	9	
9	6/30	つるの里	1	25	1F、2Fに分けて実施
10	7/7	グループホームすず	1	7	
11	7/16	ケアホームりり	1	10	
12	7/22	つるの里	1	23	1F、2Fに分けて実施
13	7/26	ケアホームもも	1	9	
14	8/9	グループホームすず	1	7	
15	9/17	グループホームすず	1	7	
16	9/20	ケアホームもも	1	9	

17	9/21	ケアホームらら ケアホームりり	2 2	9 10	
18	9/23	ケアホームるる	1	9	
19	9/30	つるの里	1	25	1F、2Fに分けて実施
20	10/19	ケアホームらら	1	9	
21	10/28	つるの里		25	1F、2Fに分けて実施
22	11/17	ケアホームらら ケアホームりり	1 1	10 10	
23	11/18	ケアホームもも	1	9	
24	12/23	つるの里	1	25	1F、2Fに分けて実施
25	12/25	ケアホームるる	3	9	
26	2/23	ケアホームるる	1	9	
27	2/23	グループホームすず	1	7	
28	3/9	ケアホームるる	1	9	
29	3/15	ケアホームもも	1	9	
30	3/24	つるの里	1	25	1F、2Fに分けて実施
31	3/26	グループホームすず	2	7	

2) ハイキングの会

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	お花見	4/1	岸谷公園	26	つるの里
2	保土ヶ谷公園で花の散策	5/4	保土ヶ谷公園	19	らら・りり

3) 七夕祭り

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	七夕祭り	7/7	らら・りり るる・もも・すず つるの里	全員	

4) 防災訓練

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	緊急避難訓練	4/21、10/13	つるの里	全員	
2		4/25、9/20	もも	全員	
3		4/29、9/20	るる	全員	
4		6/12、10/2	らら・りり	全員	
5		6/18、9/25	すず	全員	

5) クリスマス会

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	クリスマス会	12/23	すず	全員	
2		12/25	るる	全員	
3		12/24	もも	全員	
4		12/23	つるの里	全員	
5		12/25	らら・りり	全員	

6) 正月祝

No.	内 容	場 所	参加者	備 考
1	おせち料理	らら・りり・るる・もも・すず	全員	
2	初詣参拝	鶴見総持寺	全員	るる・もも・すず
		杉山神社	全員	らら・りり

7) 節分 (豆まき・恵方巻特別膳)

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	節 分	2/3	つるの里	全員	
2		2/3	らら・りり	全員	
3		2/3	るる・もも	全員	
4		2/3	すず	全員	

8) ひな祭り (特別膳)

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	ひな祭り	3/3	つるの里	全員	
2		3/3	らら・りり	全員	
3		3/3	るる・もも	全員	
4		3/3	すず	全員	

9) その他の活動

No.	名 称	開催日	場 所	参加者	備 考
1	ガーデニングを楽しむ会	4/24	るる	4	トマト、マリーゴールドの植え付け
2	お好み焼き作りを楽しむ会	4/30	るる	4	
3	お楽しみ会	5/3	つるの里 1F・2F フロアーで行う	16	
4	こどもの日特別膳	5/5	らら・りり・るる・もも・すず	全員	

5	ガーデニングを楽しむ会 じゃがいもでクッキング	6/11	るる	5	じゃがいも 収穫
6	ガーデニングを楽しむ会	7/1	るる	3	トマトの 植え付け
7	生麦町魚河岸通朝市散策	8/7	るる	全員	
8	夏祭りお楽しみ会 花火大会(線香花火等)と スイカ割り大会	8/17 8/19 9/14	各グループホーム の前庭にて行う	全員	
9	夏祭りお楽しみ会	9/2	つるの里 1F・2F フロアで行う	22	
10	お月見会(月見だんご)	9/22	らら・りり・るる・ もも・すず	全員	
11	ハロウィンパーティ	10/28 10/30 10/31 10/31	すず らら・りり るる もも	全員	
12	ハロウィンパーティ 輪投げゲーム ビンゴゲーム かぼちゃすくいゲーム	10/28	つるの里 1F・2F フロアで行う	全員	
13	ガーデニングを楽しむ会	11/7	るる	2	レタス、大 根、コカブ、 春菊の植え 付け
14	正月書き初め	1/1	るる	5	
15	収穫物で生春巻作り	1/3	るる	5	
16	ガーデニングを楽しむ会	2/10	るる	5	ジャガイモ の植え付け
17	バレンタイン 折り紙の メッセージカード作り	2/13	つるの里	10	
18	ガーデニングを楽しむ会	3/2	るる	2	レタス、春 菊の収穫
19	ホワイトデーお菓子作り 折り紙メッセージカード	3/13	つるの里	10	

4. サービスの充実

(1) 就労作業の充実

クラフトテープ製品・ナイロンたわし・アイロンビーズ製品・手織製品・シュレッダー作業・社内便封筒とメモ帳作り・古着の値札付け等より良い製品作り等に励みました。

(2) 農作業の充実

「つるの里」で利用する農地として、鶴見区獅子ヶ谷 2-25「シェア畑横浜鶴見」を継続して借りました。今年度はイチゴ・トマト・ピーマン・大根・ブロッコリー・ナス等数種類の野菜を収穫しました。また、つるの里広場のプランターに色々な花と大葉・小松菜・ジャガイモ・ミニトマト等の野菜類の苗木を植えました。

利用者全員が収穫の喜びを感じる体験ができることを目指すと共に売り上げに貢献しました。

(3) パン工房の移転と販売経路の拡大

パン工房は、つるの里施設内へ移転し、稼働しています。利用者全員が交代で就労してもらい、パン作りの工程を体験し、楽しく学べるように努めました。

新メニューの開発に努め、より美味しい商品ができるように日々研究開発しました。さくらパン・マーブルショコラ・くるみあんパン・レーズンブレッド・ベーコンエピ・シチューパン・シナモンロールパン・ごぼうパン・ぼてちーパン・プリンパン・丸ごとポテトパン・ツナちくわパン等の調理パンの新商品の開発、季節限定商品をメニューに加え、地域の方々にも販売出来る様に自部門での営業活動による販路拡大に努めました。

(4) 施設外就労

横浜市からの委託事業として、清掃作業（岸谷公園、別所公園）を参加者 10 名で各 5 回（年間 10 回）行いました。

(5) 医療連携体制の強化

各グループホームで看護師による月 1 回のバイタルチェックと健康相談を行い、コミュニケーションを取りながら利用者の健康維持に努めました。併せて、歯磨き指導、巻爪切り、室内での簡単体操等を行いました。

(6) 新型コロナウイルス感染症対策

今年度も昨年度同様、「医療」と「福祉」の本格的連携を図り、いち早く職員及び利用者とその家族に対して 4, 5 回目のワクチン接種を実施しました。

その結果、当初は作業所等、時間短縮することなく運営していましたが、8 月にグループホームでクラスターが発生しました。その後、感染対策の強化に努めましたが、つるの里で 12 月～1 月にかけて感染者が発生しました。管轄区の保健所指導の元、グループホームや自宅での待機を強いられました。

各グループホームでは、それぞれの通所している作業所が休業となった場合は、十分な感染防止対策を行いながら、個別に公園散策や軽い運動を行い、気分転換を図りました。

日々健康管理と体力増進に努めております。